

令和5年度  
第3回 苫小牧市航空機騒音対策協議会  
会議録

令和5年11月22日（水）

午後6時25分

JFEリサイクルプラザ苫小牧 2階会議室

## 会 議 次 第

### 1 開 会

### 2 会長挨拶

### 3 部長挨拶

### 4 議 題

#### (1) 報告事項

##### ア 米軍再編に伴う米軍機訓練移転について

##### ① 「米軍再編に係る三沢飛行場から千歳基地への訓練移転」に関する

##### 報告について

【資料 1】

##### イ 航空機事故関連について

##### ① 令和5年度（上半期）航空機部品等落下事案について

【資料 2】

##### ウ 令和5年度要望活動結果について

【資料 3】

##### エ 新千歳空港における最近の動向について

##### ① 令和5年度上半期新千歳空港における民航機の引き返し及び

##### 目的地外着陸について

【資料 4-1】

##### ② 調整池の容量拡張について

【資料 4-2】

#### (2) 協議事項

##### ア 令和5・6年度再編関連訓練移転等交付金事業（案）について

【資料 5】

### 5 その他

○ 協議会委員 ※敬称略

出席者 (16名)

会 長	丹羽 秀則	委 員	齋藤 謙吉	委 員	永谷 俊文
副会長	松重 茂雄	”	多田 嘉弘	”	山端 豊城
”	” 三海 幸彦	”	千葉 英明	”	工藤 幾子
委 員	丹治 秀一	”	小倉 巖	”	松井 良明
”	” 丹治 秀寛	”	久保 智揮	”	米谷 一夫
”	” 丹治 有貴				

---

欠席者 (6名)

委 員	大槻 昌一	委 員	越川 慶一	委 員	竹田 秀泰
”	” 荒木 孝司	”	” 星野 岳夫	”	” 牧田 俊之

---

○ 事務局 出席者 (12名)

総合政策部	部長	町田 雅人	環境衛生部	部長	石黒 幸人
”	参与	柴田 健太郎	”	次長	鈴木 正毅
空港政策課	課長	伊藤 貴文	環境保全課	課長	櫻井 理博
”	主査	新谷 昌洋	”	課長補佐	齋藤 和之
”	”	仲林 はつみ	”	技師	田中 惠実香
”	”	木村 賀津彦	”	”	田村 侑也

# 令和5年度 第3回苫小牧市航空機騒音対策協議会 会議録

## 1 開会

### ◇事務局

皆様、お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。

定刻より早いですが、皆様お揃いになりましたので、只今から令和5年度第3回苫小牧市航空機騒音対策協議会を開会いたします。

私は、事務局を担当しております苫小牧市空港政策課長の伊藤と申します。よろしくお願いたします。

## 2 会長挨拶

### ◇事務局

それでは、協議会開催に先立ちまして、会長から一言、ご挨拶をいただきます。お願いいたします。

### ◆会長

今日は非常に、日中が暖かい日でございます。11月の小春日和というような中で、夜は急速に寒くなってまいります。そういう中をご出席いただきまして、大変ありがとうございます。

今日は皆さんのお手元に、要望活動の内容がそれぞれあるかと思いますが、簡単に、私から要点を申し上げたいと思っております。

10月25日、道内は第2航空団、そして新千歳空港事務所。北海道防衛局にも行ってまいりました。そして30日、31日に上京して、各省庁を回らせていただきました。

北海道防衛局に行く前の日に、東開町の文化交流サロンが北海道から福祉の表彰を受けたと、こういうことが新聞に大きく載っております。これがご存知のように、北海道防衛局にご協力いただいて、管理運営するということになっておりました。

そのお礼を兼ねて、新聞のコピーを持って行きましたら、局長を含めて幹部の方が大変関心を持っておられました。そういうことで、北海道防衛局の方は、和やかにお話をさせていただきました。

また、新千歳空港事務所は夕方になりましたけれども、滑走路の除雪や、排水の関係。これらの調整池として、新しく穴を掘って、今までやったところと別にやる予定でいるというようなことで、非常に早く対応をしていただきました。

色付きの防除雪氷剤については、道新にも出ておりましたが、各報道機関に発表されまして、問題ありませんということでございました。

そういうようなことで、それぞれご挨拶と、今後の予算もよろしくということで行ってまいりました。

上京した折には、堀井内閣府副大臣がつきまして、それぞれ省庁を回ってまいりました。とりわけ、航空局の東田参事官には面談していただきまして、昨年もそうでしたが、ウトナイ湖も含めて、滑走路の下にある我々の地域の状況をしっかりと見ていただいたようです。そして良い環境に住まれているなということ、今後も新千歳空港の整備に関して、しっかり対応していくとおっしゃっておられました。何と云っても現場にいられて、状況をよく見ていただくということは、非常に意義深いことだと思っております。

そして、これもまた和やかにお話をさせていただきまして、今後ともよろしくということをお願いしてまいりました。

この方は昨年もいらしたのですが、大体、幹部の方はほとんど変わるわけですね。そういうことで、毎年同じような要望活動をしているわけですが、やはり我々の意思はしっかり据えなければいけないと痛感しながら帰って来たところでございます。

これからもひとつ、よろしくお願ひいたします。

今日のご案内にあるとおり、色々のご報告、あるいは協議事項もでございます。よろしくご審議の程、お願ひいたします。

以上でございます。

#### ◇事務局

ありがとうございました。

続きまして、町田総合政策部長からご挨拶申し上げます。

### 3 部長挨拶

#### ◇総合政策部長

皆さん、こんばんは。総合政策部長の町田でございます。

本日はお忙しい中、また夜分にもかかわらず、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

皆様におかれましては、日頃より市政の推進、並びに新千歳空港や千歳飛行場をめぐる様々な課題に対しまして、特段なるご協力をいただいておりますことに感謝を申し上げます。

さて、9月26日から10月4日まで行われました、米軍再編に係る千歳基地への訓練移転につきましては、訓練に関する事故、事件はありませんでしたが、米軍人によるトラブルが1件ございました。後ほど報告事項の中で、詳細については説明をさせていただきたいと思っております。

なお、本日はこのほか、10月に実施しました要望活動の結果などに関するご報告と協議事項といたしまして、再編関連訓練移転等交付金事業につきまして、ご協議させていただきたいと考えております。

また、市長に関しまして、皆様に大変ご心配をおかけしておりますが、帰国後は社会復帰に向けて、治療に専念していることをここでご報告させていただきます。

それから現在、市役所においては、寒さが増して来た中でコロナとインフルエンザが非常に流行り出してきておりますので、皆様におかれましても、健康には十分ご留意していただければと思います。

最後になりますが、委員の皆様には引き続き大変ご苦勞をおかけしますが、今後もよろしくお願ひ申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願ひします。

## ◇事務局

この後につきましては、座って説明をさせていただきます。

開会に先立ちまして、すでにご承知の方もおられるかと思いますが、先日、本協議会の齋藤謙吉委員が瑞宝双光章を、また、丹治秀寛委員が自治貢献者表彰を受賞されました。

齋藤委員におかれましては、昭和53年に苫小牧市消防団へ入団された以降、長きにわたり幾多の災害に出動し、豊富な経験と知識を如何なく発揮され、平成30年から令和4年までは消防団長として、精力的に消防団運営にご尽力されました。

次に、丹治秀寛委員におかれましては、平成15年から、20年間にわたり本協議会委員として尽力され、航空機騒音の発生源対策及び空港周辺対策について深く関わり、本市のまちづくりに多大な貢献をされております。

この度は誠におめでとうございます。

次に事務連絡といたしまして、大槻委員、荒木委員、越川委員、星野委員、牧田委員から本日所用のため欠席とのご連絡を受けております。また、竹田委員のご到着が遅れておりますので、ご報告いたします。

次に、資料の確認でございますが、資料1から資料5を事前に配布させていただいております。本日ご持参いただいている方は、お知らせ願ひします。

よろしいでしょうか。

それでは、これからの議事進行につきましては、規約に基づき会長が議長として進めていただきます。

なお、議事録作成の関係上、発言に際しましてはマイクのご使用をお願いいたします。また、マイク使用後はスイッチをお切りくださいますようお願いいたします。

それでは会長、よろしくお願ひいたします。

## 4 議題

### ◆会長

それでは、早速でございますが、第3回苫小牧市航空機騒音対策協議会を始めさせていただきます。

報告事項から、1つずつやってまいりますのでよろしくお願ひいたします。

それでは(1)報告事項アについて、事務局から説明をお願ひします。

## ◇事務局

空港政策課の仲林と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。それでは座って説明させていただきます。

報告事項ア、米軍再編に伴う米軍機訓練移転についての、①米軍再編に係る三沢飛行場から千歳基地への訓練移転に関する報告につきまして、1ページの資料1をご覧ください。

こちらは、事前に参考資料として送付させていただきました、米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する中間報告書の一部を抜粋したもので、本日はこちらに沿ってご説明させていただきますが、詳細につきましては、参考資料をご参照願ひます。

また、中間報告書につきましては、本日いただいたご意見等を追加し、最終報告書として取りまとめる予定となっております。

それでは、説明に入らせていただきます。

今回の訓練期間につきましては、9月26日から10月4日まで、訓練回数につきましては、戦闘機戦闘訓練が19回実施されております。

1番下の参加規模につきまして、米軍は三沢基地所属のF-16が12機、嘉手納基地所属の早期警戒管制機であるE-3Gが1機で、人員は約220名、自衛隊は千歳基地所属のF-15が8機の参加となっております。

次に、2ページをご覧ください。下から2段目の、米軍人の外出でございしますが、千歳市内において、民間車両へ正当な理由なく侵入するというトラブルが発生しましたが、事件性はないと警察から聞いている、と北海道防衛局から伺っております。

市としましては、北海道防衛局に対し、米軍における事件・事故は、住民の皆様にも多大な不安を与えることから、米側に徹底した規律の維持及び綱紀肅正等を図るよう求めることについて強く申し入れております。

なお、訓練に関する事件・事故はなく、無事終了しております。

次に、3ページをご覧ください。こちらは、訓練期間中の苦情・問い合わせ結果等についてですが、本市においては苦情・問い合わせ等はございませんでした。

なお、本市の検証結果でございしますが、今回の訓練移転につきましては、協定の遵守をはじめ、訓練計画の2段階による早期の事前公表や連絡協議会開催のほか、住民等の対応窓口となる現地連絡本部の設置など、これまでの国との協議経過を踏まえ、着実に実行されたものと受け止めております。

また、改善すべき事項として、沖縄の負担軽減につきまして、目に見える形の検証のほか、米軍外来機における訓練等の抑制など、沖縄の方々が負担軽減を実感できるよう、引き続き、国に求めていきたいと考えております。

私からの説明は以上でございます。

## ◇事務局

環境保全課の田中です。続きまして、私からは、4ページからの、訓練移転に伴う騒音

測定結果ついてを説明させていただきます。座って説明させていただきます。

5 ページをお願いいたします。訓練移転に伴う騒音測定地点につきましては、苫小牧市、北海道、北海道防衛局の常時監視測定局及び臨時測定地点、合わせて22地点で測定を行っております。

次に、6 ページの騒音測定結果でございますが、こちらには各測定局の訓練期間中の最高値を米軍機、自衛隊機別に掲載しております。

訓練期間中の最高値は、米軍機のF-16が植苗公園局で観測しました92.0dBでございました。

また、自衛隊機は沼ノ端東雲局で観測されました90.2dBが最高値でございました。

次に、7 ページ目をお願いいたします。こちらは訓練期間中の日ごとのLden値を範囲で示したものですが、こちらの値は自衛隊機と民航機を合わせた値となっております。右側には令和4年度1年間のLden日最大値を示しております。

訓練期間中で最も大きかった値は、丹治沼局の61dBでしたが、各局ごとに比較しましても、昨年度のLden日最大値と同程度の結果となっております。

最後に8 ページでございますが、以上の結果を踏まえ、今回の訓練移転における騒音につきましては、Lden値は第2航空団が行っている通常訓練の範囲内であったという評価でございました。

資料1の説明は以上です。

## ◆会長

資料の説明が終わりました。

皆様から、ご質問・ご意見等をお伺いいたします。どうぞご意見がありましたら、おっしゃってください。

米軍訓練は非常に問題なくいったということで、大変良かったと思います。

それではないようですか、次に進んでよろしいでしょうか。

(「はい。」という声あり)

次に進ませていただきます。

続きまして、報告事項イにつきまして説明をお願いいたします。

## ◇事務局

報告事項イ、令和5年度上半期航空機部品等落下についてご説明いたします。

9 ページの資料2をご覧ください。こちらは、本年4月から9月までの部品等落下につきまして、10月23日付けで千歳基地から通知されたものでございます。

発生日は4月20日、機種はパイロット養成用の練習機であるT-400、落下部品はリベットで、大きさや重さにつきましては、記載のとおりでございます。

次の10 ページに写真を掲載しておりますが、こちらはエンジンの空気取り入れ口の



部材を取り付けるためのねじでございます。

第2航空団の説明によりますと、千歳飛行場から浜松飛行場の間で飛行中に落下したと想定しており、落下場所は特定できておりませんが、現在のところ被害の報告はないと伺っております。

また、今後の改善策として、飛行前後の点検等において、入念かつ確実な点検に努めてまいりたいとのことございました。

市としましては、この度の部品落下事案を受けまして、第2航空団に対し、同型装備品の整備及び管理の徹底を行うとともに、事故の原因究明及び再発防止策を速やかに行うことなどを、強く申し入れております。

報告事項イの説明は以上です。

### ◆会長

報告事項イにつきまして、部品落下でございますけれども、ご質問・ご意見がございましたら、お願いいたします。

高い所から落ちると、結構小さい部品でも殺傷力がございますから、これだけはいつも申入れはしているところでございます。よろしいでしょうか。

(「はい。」という声あり)

このことにつきましては、報告を終わらせていただきます。

続きまして、報告事項ウ、令和5年度要望活動結果につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

### ◇事務局

報告事項ウ、令和5年度要望活動結果につきまして、11ページの資料3に基づきご説明いたします。

こちらは、本日の資料と一緒に送付させていただきました、要望活動報告書の一部を抜粋してまとめたもので、本日はこちらに沿ってご説明させていただきますが、詳細につきましては、冊子の報告書をご参照願います。

それでは説明に入らせていただきます。はじめに、12ページをご覧ください。今年度の要望活動につきましては、10月25日に札幌・千歳、10月30日・31日に東京で行い、国土交通省及び防衛省などの関係機関並びに地元選出国會議員に対し実施いたしました。

札幌・千歳には、丹羽会長をはじめ委員10名、東京には5名にご参加をいただいております。ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。

日程の詳細につきましては、13ページに記載のとおりでございます。

次に、要望先につきましては、14ページから15ページをご覧ください。こちらに記載の國會議員、国土交通省、防衛省及び北海道エアポート株式会社の関係各位に要望書を提出しております。

要望先での対応者につきましては、16ページのとおりでございますが、今回も堀井学内閣府副大臣にご同行いただき、国土交通省では、加藤竜祥政務官、防衛省では、松本尚政務官に直接要望書を手渡し、意見交換を行っております。

次に、要望書につきましては、17ページから23ページのとおりでございます。

次に、24ページの国土交通省及び北海道エアポート株式会社の回答要旨でございますが、要望事項1の飛行コースの遵守につきまして、国土交通省からは、空港運営会社や管制機関とも連携して、航空会社に対する指導や監督を適切に実施していきたいとの回答でございます。

次に、要望事項2の運航自粛時間における飛行につきまして、北海道エアポート株式会社からは、運航者会議等のあらゆる機会を通じ、協力要請を行っていききたいとの回答でございます。

次に、要望事項3の低騒音機種への切替えにつきまして、国土交通省からは、新規機材導入に係る税の減免措置による支援を行っており、今後も低騒音機の導入を促していきたい、また、北海道エアポート株式会社からは、着陸料騒音課金の継続運用により、引き続き、切替を促進していきたいとの回答でございます。

次に、要望事項4の外国貨物機の騒音軽減につきまして、国土交通省からは、着陸時における飛行高度の引き上げや、離陸時における住宅地域を避けた飛行経路の設定等を行っており、今後、外国貨物機の運航が計画された場合には、指導や監督を適切に実施していきたい、また、北海道エアポート株式会社からは、着陸料騒音課金の継続運用により、旅客機同様、切替を促進していきたいとの回答でございます。

次に、要望事項5の航空機等の安全管理の徹底、また、航空機事故に関する情報提供につきまして、国土交通省からは、安全運航の確保は最重要課題と認識している。今後とも、安全運航の確保に万全を期して、安全・安心に対する信頼を得られるように努めていきたいとの回答でございます。

次に、25ページをご覧ください。要望事項6の、北海道エアポート株式会社の支援と新千歳空港における安全対策等の維持・強化につきまして、国土交通省からは、コロナ禍の長期化や航空需要の大幅な減少により、大変厳しい状況に直面していたと承知している。引き続き、安全対策等の維持、強化を継続するため、安定的な運営が可能となるよう対応していきたいとの回答でございます。

最後に、要望事項には載せておりませんが、美沢川の水質問題について伺っており、国土交通省からは、有色防除雪氷剤については、調整池による希釈効果で、色が分からないぐらいのレベルになったかを確認した上で放流する、北海道エアポート株式会社からは、有色防除雪氷剤は今シーズンからの使用となるが、排水管理については水質調査のモニタリングを実施し、周辺環境保全に最大限努力したいとの回答でございます。

続きまして、26ページをご覧ください。防衛省の回答要旨でございますが、要望事項1の市街地上空の低空飛行につきまして、第2航空団からは、飛行訓練については、航空法を遵守し実施しており、他基地から来たパイロットに対しても同様に教育指導を実施

している。今後も安全飛行を念頭に置きつつ、市街地上空の低空飛行を避けるよう努めていくとの回答でございます。

次に、要望事項2の通常訓練の離着陸コースにつきまして、第2航空団からは、可能な限り市街地上空を避けるよう飛行するが、天候等の状況により、安全確保のため、雲を避ける飛行をする場合があることもご理解いただきたいとの回答でございます。

次に、要望事項3の運航自粛時間における飛行につきまして、第2航空団からは、深夜早朝の飛行訓練は原則として実施しないこととしているが、緊急発進や災害派遣等により、飛行する場合があることをご理解いただきたいとの回答でございます。

次に、27ページをご覧ください。要望事項4の土日祝日の飛行につきまして、第2航空団からは、通常の飛行訓練は計画していないが、上級部隊が計画する演習等については、飛行する場合があるので、ご理解いただきたいとの回答でございます。

次に、要望事項5の自衛隊機等の安全管理の徹底、また、自衛隊機事故に関する情報提供でございますが、第2航空団からは、平素より、定期的な整備、飛行前後の点検等を実施しており、引き続き、安全確保に努めたい。万が一、事故等が発生した場合は、苫小牧市を含む関係自治体への速やかな情報提供に努めたいとの回答でございます。

次に、要望事項には載せておりませんが、沖縄の負担軽減について伺っており、北海道防衛局からは、今後とも米軍に対し、嘉手納飛行場における騒音軽減がより一層図られるよう協力を求めるとともに、沖縄の負担軽減に努めたいとのことでございます。

続きまして、28ページをご覧ください。防衛省の住宅防音助成に関することですが、北海道防衛局からは、75W未満の取扱いについては、住宅防音工事の今後のあり方に関する課題で、全国の進捗状況を踏まえ、将来の検討課題と考えているとの回答でございます。

次の29ページから32ページまでは、要望活動の際の主な質問に対する回答をまとめたものでございますので、後ほどご参照願います。

最後でございますが、33ページの中段から35ページまでは、この度の要望活動に合わせまして、AIR DO及び全日本空輸の本社を訪問し、遅延便等に関する意見交換を実施してまいりました。

AIR DOからは、遅延便の原因については、コロナ禍以降、乗客が急増し、空港での手荷物検査や地上業務の体制が追い付かなかったことが主な要因と認識している。対策については、混雑解消に向け、空港の管理会社による手荷物検査体制の強化や、地上業務の委託会社においても体制の強化に取り組んでいる、全日本空輸からは、原因については、天候事由が非常に多いことや、なかなか1つの理由に特定しがたい状況がある。対策については、搭乗案内時のゾーン分けや、計画段階における機材繰り、予備の航空機や乗組員を準備しておくなど様々な策を講じているというお話をいただいたところでございます。

以上が要望結果でございますが、今回の要望活動につきましては、騒音の実態や飛行高度、新千歳空港を取り巻く状況などについて、地域の考えをしっかりと伝え、認識を共有す

ることができたと感じております。

各要望項目につきましては、航空機の運用や騒音対策に関するものが多く、すぐに解決できる問題ではないため、今後においても粘り強く働きかけてまいりたいと考えております。

報告事項ウの説明は以上です。

#### ◆会長

報告事項ウの要望活動の報告をいたしました。ご質問・ご意見等がございましたら、お受けいたします。

この中では、美沢川の水質問題なのですが、美々川に流れていますね。私が気になっているのは、今のところ美沢川から本流に入る所は問題ない数字が出ているのですが、植苗橋辺りになってくると、ぐっと上がってくるような数字が出ているのです。

こういうことでは、要望する時に数字を見られると、ちょっと恥ずかしい面がありますから。これが続くとなると、地域としても考えなければいけないと。また、本協議会においても、よく知っていただきたいと思っております。

要望事項の報告ウにご質問をいただければ幸いです。いかがですか。無いようですので、次に進んでよろしいでしょうか。

(「はい。」という声あり)

よろしいということで、次に移らせていただきます。

次にエの、新千歳空港における最近の動向ということで、1と2がございますが、事務局からご説明をお願いいたします。

#### ◇事務局

報告事項エ、新千歳空港における最近の動向についての、①令和5年度上半期新千歳空港における民航機の引き返し及び目的地外空港への着陸についてをご説明いたします。

36ページの資料4-1をご覧願います。

#### ◆A委員

あのね、これもうちょっと時間をかけてやらないと。ただ先にばかり進んで、みんな理解できない。もうちょっと間を置きながらやらないと。そんなに急いでいるの、この会議。納得しないうちにどんどん先に進んでしまう。

昭和50年からやってきて、土台を作ってきた人間だけれども、ただやはり今の若い人にはついていけないよ。

#### ◆会長

今日はちょっと早く始まっておりましたから、時間は大丈夫です。ご質問がありましたらお願いいたします。

◆A委員

会長、もうちょっと間を置きながら、分かりやすい説明をしてほしいな。

◆会長

皆さんに、ご質問・ご意見をお伺いしております。

今まで、ア・イ・ウまで進みました。それではもう一度お伺いしますが、ア・イ・ウにおきまして、何かご意見がございましたらお伺いしますが。

A委員、よろしいでしょうか。

◆A委員

いいよ。

◆会長

それでは、進ませていただきますね。

◆A委員

はい。

◆会長

それでは、報告事項エにつきまして、事務局から一括説明をお願いいたします。

◆A委員

必ず、何ページっていうことをはっきり言ってから進むべき。

◆会長

分かりました。

◇事務局

それでは、36ページの資料4-1をご覧ください。

報告事項エの、新千歳空港における最近の動向について、①令和5年度上半期新千歳空港における民航機の引き返し及び目的地外空港への着陸についてをご説明いたします。

こちらは、本年4月から9月までの新千歳空港における民航機の引き返し及び目的地外空港への着陸について、取りまとめたものでございます。

合計件数は31件で、内訳につきましては、国内線では引き返しが21件、目的地外空港への着陸が5件、国際線では引き返しが0件、目的地外空港への着陸が5件です。

着陸理由については、天候不良が全体の約7割を占めております。

続きまして、38ページの資料4-2をご覧ください。②調整池の容量拡張につきまし

て、ご説明いたします。

こちらは、本年5月に開催されました本協議会におきまして、新千歳空港の調整池拡張工事に係る情報があればいただきたい、とのご要望を受け、国土交通省より情報提供いただいたものでございます。

はじめに、上段の囲み部分でございますが、今回の拡張工事につきましては、豪雨時等のオーバーフロー対策とBOD低減を確実にするため、新たな調整池の設置と既設調整池の掘り増しによる容量拡張が行われるものでございます。

次に、中段の想定工程でございますが、新設調整池は現在工事中で、来年1月頃に完成予定、既設調整池の掘り増しは来年度の工事が予定されております。

次に、下段の写真でございますが、新設調整池は既設調整池の南側、位置図では右側になりますが、オレンジ色の部分に2か所設置される予定で、これは設置場所の地形によるものですが、いずれも排水管で連結しており、池の底の高さも同じであることから、同時に水が溜まる構造となっております。

貯雪ピットからの雪解け水が、中央にある既設4号排水路を通り、分岐して導水路から新設調整池に流れますが、水深が浅い構造であることから、水温を上昇させやすくする効果があり、BODの分解を促進させ、既設調整池よりもBODの低減速度を早くできると伺っております。

また、写真左側にあります水色の部分は既設調整池でございますが、掘り増しにつきましては、ピンク色の範囲を予定していると伺っております。

最後に、新設調整池が完成した後の管理運用につきましては、引き続き、北海道エアポート株式会社が行い、いずれの調整池におきましても、放流に当たってはBODや色度などを確認した上で、適切に美沢川への放流を行うと伺っております。

報告事項エの説明は以上です。

#### ◆会長

それではエの説明が終わりましたので、ご質問を受けます。

はい、B委員どうぞ。

#### ◆B委員

途中で言いませんでしたので、いっぺんに。順番にやりますね、後ろからいきます。

#### ◆会長

どうぞ。

#### ◆B委員

まずこの調整池です。1月に完成する新しい池はいつから溜めるのですか。

それと、今年から有色のADFを機体にかけるようですが、その説明があまりなかつ

ただのだけれども、色が何か見えなくなると言って、どの基準でやろうとしているのですか。

それと、今までもそういう説明をしたのですが、除雪した雪を堆積しているのですけれど、今年もずっとやっていくのですか。

それと、この色の問題で、当初はフィルター等々を着けるということだったけど、今回は一切着けることがないわけです。

新しい調整池は、元来の調整池に持って行かないで、沈砂池に放流するというので良いのですね、この図面からいくと。

もう1つ、この池の関係で。そのモニタリングっていうのですが、どこでこの数字のモニタリングしたものを発表するつもりでいるのですか。

先ほど会長も言われたように、そこの池の前では数字がないのが、植苗橋まで来たらBOD等々が高い時期があるのだけれども、そこらへんのことなのですよ。

まずここまでで、ご回答いただければ。

#### ◆会長

はい、事務局。

#### ◇事務局

6点ほどあったかと思いますが、まず来年の1月に完成する調整池は、いつから水が溜まるのかという、お尋ねがございました。

先ほど説明がありましたように、この貯雪ピットから、既設4号排水路というところを通して、この新調整地に溜まるわけですけれども、雪解け水でございますので、春先には、どんどんこちらの方に溜まっていくものと考えております。

それから2点目、ADFについて、今年からということで、色の基準がどの基準でやるのかというお尋ねがございました。先月、10月29日から冬タイヤが開始されましたが、新千歳空港においてはそれを持ちまして、有色ADFの運用をしているところでございます。

色につきましては、緑色とオレンジ色の2色を使うわけですが、この調整池で、昨年11月と今年5月の本協議会でもご説明しましたけれども、色度は1から10段階まであって、色度2ぐらいで放流することを考えているという説明がありました。その緑とかオレンジとか、そういったものではなくて、川の水と同等程度の色味まで落として、放流する予定でおります。

それから3点目、雪の堆積ということで貯雪ピットのことだと思っておりますが、ずっとやっていくのかというようなお話だと思っております。

貯雪ピットにつきましては、クールプロジェクトということで10年ぐらい前からやっておりますけれども、そちらの雪の堆積、貯雪ピットの運用については、この後も継続してやるというふうに北海道エアポート株式会社から伺っているところです。

4点目、フィルターの話です。実はこの話が出た時に、調整池でBOD値と色度を落とす方法と、活性炭フィルターを通して色度を落とす方法の2種類、説明があったと思います。

北海道の空港につきましては、調整池が全てあると伺っておりまして、国の方針では調整池があるところはその池を利用して処理しなさいという形になってございますので、活性炭フィルターを使わず調整池で、色度とBODを下げていくと伺っているところでは。

それからモニタリングについて、数値の発表をどこで行うのかということでした。調整池で放流するのが来年の春先になりますが、タイミングが合えば、本協議会で放流の前にご報告できればしたいと思いますけれども、この間の本協議会でも私どもから説明しましたが、一度その調整池に溜めたものを放流する前に、協議会として現地に皆さんで行って、実際にBOD値と色味のところを確認させていただいて、放流することも考えているところです。

調査の場所につきましては、新調整池の中では当然やりますし、既設の方でも、モニタリングは両方で行って、やる予定ということです。以上でございます。

#### ◆会長

はい、B委員どうぞ。

#### ◆B委員

まずですね、このモニタリングもそうですけど、環境保全課に聞いた方が良いのかな。1年に1回、この美沢川をはじめデータが出てくるのですが、北海道エアポート株式会社はこの調整池、今日はその資料はないですけど、①番の所でやっているのを委託しているはず。入って行けないからっていう答弁でしたが、今度は良いですよということになったのですけれども、苫小牧市はまだ委託してやろうとしないのか。

それと、この新しい調整池も雪解けとともに溜まって放流するということですが、これは元来の調整池まで持って行かないで、この沈砂池の所に放流するという凶面のようなのでからね。ゲリラ雷雨等々で、国土交通省が5回ほどオーバーフローしたと言ったこともあるのだけでも。そういうことにはならないのですか。だからその数字なんかも、どこでやるのと聞いているわけなのですよ。

今回初めて、その色の付いたADF。今はもうコロナが終わって、かなりの便数が戻ってきて、かなりの量。テスト段階より、かなりかけるし、前の透明の時よりムラを無くすために色を付けたわけだから、かなりの量を撒くのではないかと思っているのです、我々素人にしても。調整池を深く掘るっていうのを松重副会長が言っていて、これもやることにはなったのだけでも。

それと、ADFは光によってBODも下がるというデータも出されているはずだから、この放流できちんとした、どの段階の数値で出すのか、そこらへんは今までのよう



にはいかないと思います。

まず、この調整池とADFに関してはそう思っているのですが、今の発表では私にとっては非常に曖昧だと思っているのですよ。

1月に完成するって言うけれども、本当にそれからちゃんと機能できるのかなと思って、心配。もう12月から大雪でも降ったり、寒くなれば、ADFはかけるのかなと思っているのです。以上です。

#### ◇事務局

環境保全課の櫻井です。

只今、お話がありました沈砂池を出た後の水ですね。私どもと、北海道エアポート株式会社が委託している分析業者さんがやっている値が合っているどうか、ズレがないのかというところの確認を、敷地内に入らせていただいて、同時にサンプリングして分析し、それは概ねズレはないということで確認できました。

この後も、北海道エアポート株式会社さんは水質分析の委託をしていますが、市が同じ地点で重ねて分析するかというのは、北海道エアポート株式会社が直接分析をしているのではなくて、分析事業者として資格を持っている業者さんが分析していますので、そこは苫小牧市が例えば、分析業者に頼んだとしても同じ値が出てくるものと考えておりますので、重ねて分析することは今のところ考えておりません。

#### ◆会長

B委員。

#### ◆B委員

事務局、それじゃ、ちょっと回答になっていないですね。

前の時にも、なぜその時に行かなかったって言ったら、入れられないで、洪水になったから検査に行けませんっていう回答をしましたよ。

苫小牧市がそんなもう委託業者を信じて、苫小牧はそれだけのレベルがないのですか。それはあんまりじゃないですか。今日はその資料がないですけども、前には①番に行けないから取りに行かなかったっていう回答をしていますよ。

そんないい加減なことでは駄目だから、僕らは苫小牧市もちゃんと市として行って採って、検査をしてくださいっていうことをお願いしているわけですよ。

議事録も読んでみてください。そういう回答していますから。

そういう、違った発言はちょっといかがなものかなと思います。

#### ◇事務局

その当時は、北海道エアポート株式会社が、分析を委託しているその数値が合っているかという質問だったと思うのですけれども、それが合っているかどうか、まず市の測定

結果とズレがないかどうかを確認させていただいております。

分析事業者は計量法に基づく資格を有して分析をしておりますので、そこは疑う余地はないというふうに市は考えております。

◆B委員

いいですか。

◆会長

どうぞ。

◆B委員

もうやめますけどね、そういう意味じゃないのですよ。

事務局、そこに行けないって言うから、北海道エアポート株式会社に苫小牧市が入って行けないのですかって言って、入って行けることになって。委託業者を信じる、信じないの話じゃないの。

苫小牧市が行って、ちゃんとその水を汲んで来てやっているのですかということを書いていて、行けないって言うから、北海道エアポート株式会社さんに本当に入って行けないのですかって言ったら、いや、そんなことはないです、どうぞ入って採ってくださいってことを言われていたはずなのです。

委託業者を信じないなんて、僕らは言ってないのです。根本的に違っていますよ、考えが。

◇事務局

ですので、疑う余地はないため、市が重ねて分析する意味というのも、私どもとしてはあまり感じてないところで、その報告いただいた数値を信じて、公表するという形を取っています。

私どもとしては、それが基準に合っているのかいないのかを確認させていただいているところでありますので、今後も、そういう形で確認はしていきたいというふうに考えております。

◆B委員

はい、最後です。

◆会長

どうぞ。

## ◆B委員

苫小牧市の環境保全課って、そういうことですか。そうしたら、①②③④⑤番まであったと思うのだけど、測定地点。それもそんなことで、いい加減な測定だということで結構なのですか、それで。ちゃんとやっているかどうか、我々、疑わしいなと思っているのだけれども。

その①番はそういう委託業者を疑っていない、それはそれで良いのです。だけど、なぜ苫小牧市がそこに行って、水を採って分析できないのと、私どもはそう言っているのですよ。他のところも、ちゃんと自分達がやっていないという意味なのですね。そういうふうには受け止めますよ。

この問題は、そういうことであれば、適当な数字を出されているのかなということをやを疑わざるを得ないです。

今度はADFを色付きで撒く。それで我々も環境を破壊したくないから、こういうことをお願いしているわけですね。根本的に違いますか。そんな委託業者を信じている、信じていないじゃないのですよ。

苫小牧市の環境保全課が、その①番を含めて、⑤番か⑥番まであったと思うけれども、それをやっているのですかということですよ。信じられなくなっちゃうね、これ。以上です。

## ◆会長

はい、ちょっと今、私から申し上げますけれども、要するに委託業者のサンプルを採る時に立ち会っていないということなのだな、言っているのは。

その疑問なのだね。そこのところをちょっと。

## ◇事務局

立ち会うかどうかというところにつきましては、事業者と相談して、同意をいただければ立ち会うこと自体はできると思います。ただ、重ねて分析することの意味というのが私達はないと思っています。

きちんとサンプリングされているかどうかという確認はできますが、今後はそういう調整と必要性を検討したいと思います。

## ◆会長

そういうことで。

できるだけと言うより、立ち会って、そのサンプルを採るということによろしいですか。

## ◆B委員

良いです。

## ◆会長

A委員、どうぞ。

## ◆A委員

せっかくのことだ、正確にやってほしい。

今の役人さん、悪いけれども、ちょっとやはり我々から見たら、どうもなあなあで通している点がずいぶんある。だからさっきも私が言ったように、そんなに先に進まないで、しっかりしたこれだけの会議に皆さんが集まるのだから、正確なことをやってほしいって今言ったばかりでしょう。

それに対して、今の答弁は正確ではないよ。もう少し、やはり地域の人達の気持ちになって、正確に。日曜日でも何でも返上をしても、そういう時には立ち会うぐらいの役人になってほしい。以上です。

## ◆会長

はい、ありがとうございます。それでは次に進めてよろしいですか。

B委員、どうぞ。

## ◆B委員

あの、ウでしなかった意味は、ここにも関連があったためにしなかったのですが。ちょっと振り返って申し訳ないですけども、この遅延便問題です。

たぶん来年でないと出てきませんけれども、今年が非常に多いわけなのです。陳情した方には申し訳ないけれども。今月でさえ60何ぼ来たデータ、その前の月は100何ぼです。これは来年じゃないと出てこないのだけれども。

それと、仕方がないっていう報告があったのです、遅延はね。天候とかそういうのは仕方ないと思いますよ。それはね、天気のこと。ただ一番恐ろしいのが、整備不良とか、整備で遅れているっていうのがすごく多いのです。見ればどこの会社っていうのが横に書いてあるから、分かると思いますけども。これは全然、安全運転にもならないし、多分、冬になっちゃうとまだまだ増えるのかと思っています。

コロナ前はここまでは多くなかったと思うのです。だけれども、今年になってからは100何回とか、そういうのが。この間もいただいたデータは60何回でしたか。これを何とか、やはり解決というか少なくしていかなければ。

この整備不良というのは、整備のために遅れたとか、機材繰りとか、駄目だから違うのとやりくりしてるから遅れたとかっていうのは、あの表を見ると、僕も10分、15分は遅延とは思ってはいないのですけれども、1時間とか1時間半、一番長かったのは2時間だったかな。24時に来たやつも、先々月の夏からあったと思うのですけどね。

これはもう論外の話で、もう少しきちんとした運航を、2社ほど行ってこられたので、効果を期待する何者でもないですけども。以上でございます。

◆会長

AIR DOでは、機種を新しくするように聞いておりました。機体を変えるような話もありますから。恐らくそういうことで、整備不良というのが減る可能性はあると思います。

人手不足は今、どこも困っているというのはあります。そういうことを漏らしておりましたけども、精一杯対応していただきたいということでやってまいりました。

◆A委員

いいですか。

◆会長

どうぞ、A委員。

◆A委員

今の会長さんの話も分かるけれども、列車は3分遅れても待ってくれないのですよ。

飛行機は1時間経っても遅れてくる人間を待つ。これはいくら飛行機でも、30分も待って来ないものは置いて行くようにしないと、飛行機でないよ。

せっかく我々が、この飛行機で戻ればこの会議に間に合うと思って計算しても、その計算通りにいかない。今、言うように2時間も遅れて来たのでは、飛行機ではないんだ。だから本当は15分ぐらいで飛ぶようにしないと、飛行機ではないと思うよ。

それを苦小牧から言ってほしい、会長さん。

◆会長

はい。

◆A委員

お願いしたい。列車は1分遅れても待たないよ。

それが飛行機は2時間も遅れるなんて、本当に機材整備や何かであれば仕方がないが、それであればその飛行機じゃなくするとか、その便は使えないとかにしないと。

やはり1時間も2時間も遅れていたのでは、飛行機の時間ではないもの。やはりこういう会議で改善してもらわないと。

世界中がそうであれば、日本は先達で、やはり正確な飛び立ちをできるように、いくら何でも15分以上は待つことはないと思う。飛行機だもの。

以上です、よろしく。

◆会長

はい、分かりました。

それではこのことにつきまして、他にご意見ございましたら。エの、新千歳空港における最近の動向の、①令和5年度上半期新千歳空港における民航機の引き返し及び目的地外着陸、②調整池の容量拡張について説明がありましたが、改めてご意見をもう一度伺いますが、よろしいですか。進めてよろしいですか。

(頷く様子あり)

大分、頷いておりますから、よろしいですね。次に進ませていただきます。

それでは(2)協議事項に移らせていただきます。

アの、令和5・6年度再編関連訓練移転等交付金事業(案)について、説明をお願いします。

## ◇事務局

協議事項ア、令和5年度及び6年度再編関連訓練移転等交付金事業(案)につきまして、資料5に基づき、ご説明いたします。

はじめに、39ページをご覧ください。令和5年度の予定事業(案)でございますが、網かけの事業につきましては、昨年11月及び本年5月の本協議会においてご承認いただきました現在実施中の事業のうち、入札等により交付金額に変更があったもので、一括してご説明いたします。

沼ノ端地区の1段目、沼ノ端地区児童クラブ備品整備事業につきましては、100万円の減で、交付金額が0円となっておりますのは、当初、沼ノ端小学校・ウトナイ小学校・拓勇小学校・拓進小学校の4校の児童クラブにおいて、除雪機を購入する予定でしたが、年度内の納品が困難となり、中止となったものでございます。

次に、2段目の沼ノ端小・中学校教育環境整備事業につきましては、22万円の減、4段目のウトナイ小学校備品整備事業につきましては、160万円の減となっております。

次に、勇払地区の1段目、勇払パークゴルフ場用地取得事業につきましては、5万円の減となっております。

最後に、共通の保健センター等医療機器整備事業につきましては、各事業の入札差金等の最終調整としており、医療機器の購入を予定しております。

以上が、令和5年度の予定事業(案)でございます。これらの事業につきましてご承認いただけましたら、今後、早急に進めてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

続きまして、裏面40ページをご覧ください。

こちらは、令和6年度の予定事業(案)でございます。

はじめに、植苗・美沢地区の1段目、植苗ファミリー公園整備事業につきましては、屋根付きベンチの設置を予定しており、交付金額は470万円となっております。

次に、2段目の植苗小中学校環境整備事業につきましては、新設された特別支援教室用の空気清浄機や加湿器などの備品購入を予定しており、交付金額は490万円となっております。

次に、3段目の植苗地区テレビ光ケーブル化事業につきましては、航空機によるテレビの電波障害を解消するためのテレビ共同受信施設において、老朽化等により、現在使用している同軸ケーブルを光ケーブルに更新する工事の実施調査・設計を予定しており、交付金額は1千100万円となっております。

次に、沼ノ端地区の1段目、勇の原公園整備事業につきましては、令和5年度に事前調査及び実施設計をした勇の原公園の整備をするもので、交付金額は4千350万円となっております。

次に、2段目の(仮称)沼ノ端南14号公園整備事業につきましては、沼ノ端中央に(仮称)沼ノ端南14号公園を整備するもので、交付金額は2千300万円となっております。

次に、勇払地区の1段目、勇払小中学校環境整備事業につきましては、勇払小中学校で使用する、デジタル身長体重計などの備品購入を予定しており、交付金額は160万円となっております。

次に、2段目の勇払総合福祉会館備品整備事業につきましては、災害時や市が主催するイベントなどに使用するテント等の購入を予定しており、交付金額は130万円となっております。

次に、3段目の勇武津資料館備品整備事業につきましては、展示ケースやプロジェクターなどの備品購入を予定しており、交付金額は400万円となっております。

次の三地区共通につきましては、令和6年度は予定しておりません。

最後に共通でございますが、入札差金等の最終調整弁として、保健センター等医療機器整備事業を予定しており、当初の予定金額は900万円となっております。

令和6年度の再編関連訓練移転等交付金につきましては、資料下段の黒枠のとおり、1億300万円と見込んでおります。

以上が令和6年度の予定事業(案)でございます。これらの事業につきまして、ご承認いただけましたら、今後進めてまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

私からは以上でございます。

#### ◆会長

それでは、(2)協議事項、令和5・6年度の再編関連訓練移転等交付金事業(案)につきまして、ご意見・ご質問ございましたらお受けいたします。

B委員、どうぞ。

#### ◆B委員

まず5年度からいきます。今回、訓練移転がありまして、最終的にこの訓練移転の増額ってというのは5年ですか。6年ですか。まず1つ。

それと、最終調整弁に当初の予定をこういう1千万近くも、いかなもんですか。使う

のであれば、もっと上の方にやっていただきたいことがあるのじゃないかなと、推測しておるのです。

次の40ページ、この予算配分のパーセントです。この0%というのは、僕は納得できないのですよ。本当にないのですか。

例えば、今までは学校の図書等をやっていただきましたが、ここの沼ノ端さんのところにある温水プール等々は、3地区でも利用させてもらっているわけですがけれども、そこにこのお金がこの頃は入ったという例がないが、本当に万全で何も無いのかなと。

私は市役所を疑っているわけじゃないのだけれども、この配分で0%というのは納得いかないと思います。以上でございます。

## ◆会長

事務局。

## ◇事務局

令和5年度の再編関連訓練移転等交付金の合計額につきましてですけれども、今回、今年度に来た再編訓練の部分につきましては、これは含まれておらず、令和6年度から令和8年度の積算に実績分として反映されるものですので、令和5年度のこの1億1千323万7千円という額につきましては、これで確定の額になっているところでございます。

また、共通の部分の他に、使い道を考えてほしいというお話がございました。今回の、令和5年度の900万円の医療機器につきましては、検査等に使用される臨床化学分析装置の購入を予定しておりまして、これは何かと言いますと、血液・尿などの検体に含まれるコレステロールや、血糖などの生化学成分というのを測定する装置を、この財源で買わせていただきたいということでございますので、ご理解をいただきたいと思います。

令和6年度でございますが、3地区を含む共通の部分につきましては、B委員がおっしゃるとおり、これまで3地区の学校図書を入れておりました。近年は毎年1千万ずつ入れていたのですが、令和5年度は440万円に落とさせていただいております。

今まで、この再編関連訓練移転等交付金を活用し、東部地区の小中学校に図書を整備させていただいたお陰で、100%近い充足率になってきたというところで、今年度ですけれども、図書は買わずに本棚を購入させていただいているところでございます。

図書の関連で、本や本棚という部分はもう足りているということですので、今後、コンピューターのシステムで受付するものなども考えていきたいと、教育委員会では言っていますけれども、現段階では、ちょっとまだその部分には至っておりませんので、この0%ということで、3地区含む共通は今回やっているところでございます。

それから、温水プールの話がございました。過去には温水プールのボイラーを直したり、色んな場面で、こういった交付金を活用させていただいておりますが、以前、B委員と話した時に、そういった話も出たもので、私もちょっと担当課に話を聞いたところ、今、ボイラーのそういった故障は時々あるのですが、そこまで高額なものではないので、一般



財源でやっている現状があるということで、以前は結構大きな工事で大きな額ということでありましたので、こういった交付金を活用させていただいたところでありませうけれども、今は温水プールはこの交付金ではなく、一般財源でやらせていただいている部分があると伺っております。

以上でございます。

#### ◆会長

もう1つ、これ6年度の交付金、これ確定しているわけではないけれども、これより増える可能性があるのですか。

#### ◇事務局

令和6年度の1億300万円という見込みの額でございますけれども、これは見込みと書いていますが、来年の8月末までに米軍の再編訓練が千歳基地に来た時には、これがアップするという格好になります。確かなことは言えませんが、大体3千万円ぐらい、通常であればアップすると思います。以上でございます。

#### ◆会長

B委員、いかがですか。

#### ◆B委員

今の事務局の答弁では、私は納得しない。

まず39ページの保健センター。事務局の言い分であれば、3地区のそのプールは違う予算でやるから、再編交付金でなくても良いと。それじゃあここも、違う予算でやっていただいた方が良くは僕は思う。

前にここは、市立病院になっていた。だから、それでここに900万円も使うなら、最初からそういう血液などを調べたいのであれば予算化して、違う予算を立てて使っていた方が、我々は安全で安心でないかなと思います。

やはり、この3地区というか、航路下のところにおけるのが再編交付金で、主旨が違ってないかいと私は言いたいのですよ。

それで共通だとか、3地区合同で使うものもってということで、委員の方は認めてきたけれども、あまりにも使い方がちょっと乱暴すぎないかなと思っております。全くないなんてことはありません。

他にも、植苗地区でも言っているけど、何もないわけじゃありませんよ。ただ前回、この令和5年度の時、植苗の方が比率が多かったから私は黙っています。だから終わったことですが、除雪機を買ってもらったけれども、植苗の人は誰も見ていないって言うので、どこに置いてあるのと言ったら、錦岡だか糸井に置いてあると言う。そんな所から出動する前にね、こっちのどこかに置いてあるのなら別だけれども。

それを買って悪いとは言いませんけども、全然対策にならないです。それはもう我々も認めて買っていただいたから、それで良いのだけれども。

だけど、あまりにもこの交付金の使い方がちょっと乱暴すぎませんか。この3地区で、全くないなんて僕はないと思います。それは調べ方が足りないだけではないですか。

ただ、学校全部にということは、僕が前に、図書が100%の充足率でない苫小牧の使える学校にと言ったら、柴田参与が他の地区には使えないということと言われたから、ああそうですか、ということになりましたけども。過去には、コトマまで使っているわけですから、あの辺まで色んなこの再編交付金は使ったわけなのですよ。

我々も共通と3地区を認めてきたけれども、あまりにもこの頃のやり方はちょっと偏り過ぎている。地域は沢山あります、出して認めてもらうものは。

#### ◆C委員

あまり誤解のないようにやろう。ちょっと良いですか。

#### ◆会長

どうぞ、C委員。

#### ◆C委員

発言の途中で大変申し訳ないのだけれども。何かB委員の話を聞いていると、この3地区で全て再編交付金を使えるみたいな論調に聞こえるのだけど。違うでしょう。

#### ◆B委員

違います。

#### ◆C委員

そんなことを言っているのではないでしょう。基本的に我々、これまで長く議論してやってきた中では、再編交付金は基本的に、迷惑料の色合いっていうのがどうしてもあるだろうと。そういう意味ではやはり、全体的な中の病院で使ったり、当然そういったことは関わるわけだから。ただ、8割ぐらいは関係するところで使ってもらいたいっていうのが、我々の流れだったよね。

そこをちょっとずれると、誤解が。最近入っている委員の方もいらっしゃるからね。ここで3地区で全部使うみたいな話をされると、やはり誤解があると思って、ちょっと言わせていただきました。以上です。

#### ◆B委員

私の言い方が悪かったから。C委員、そういうことじゃないのですよ。

米軍再編を認めた時は、やはり沖縄の負担軽減を北海道でもやろうということで、この

委員の皆さんが認めたわけです。それに再編交付金というお金がついてきて、10年間を過ぎました。その後、また継続していて、だから沖縄の嘉手納にその効果があるのっていうことを検証しようとなっているのだけど。

ただ、苫小牧市さんのお金の使い方は、やっぱり航路下3地区を対象にして、それ以外で苫小牧市全体、3地区で共通のものという意味で、私は言ったつもりなのです。だからゼロなんていうことはあり得ないんじゃないのということを言っているわけです。

だから僕は、前の市立病院によくつけていたのは、病院って経営だから、民間の病院もあるのに市立病院だけにどうして使うのということを言って、今度はこういう緊急病院にしたのだけでも、それが悪いとは言わないが、本当に3地区で全くゼロなのか、ということですよ。

#### ◆会長

はい、分かりました。事務局も、よく地域に聞いて対応してもらいたい。

この他に、北海道エアポート株式会社からの、前は駐車場の関係で調整来たのです。これ、今、北海道エアポート株式会社も出ているでしょう。こういう格好で使っているやつもあるし。結構、図書なんか使っているのでしょうか、これは。そうでもないのか。

ですから、3地区で今のところないと言うのだけれども、他からの使っているやつもあるらしいのですよね。

#### ◆B委員

それは分かっています。

#### ◆会長

そういうことで、今後出る可能性はあると思います。

それと、私事ですけども、今年も保健センターに何回かお世話になり、市立病院にもお世話になり、3地区共通みたいなもので、もうだんだんと。自分のことなのですけどもね。そういうことで、理解していただければと思っております。

それでは、このことにつきましてはこれぐらいにいたしまして、他の皆さんからありましたらお聞きしますが、どうでしょうか。

#### ◆D委員

すみません。

#### ◆会長

D委員、どうぞ。

◆D委員

すみません、ちょっとお尋ねしたいことがあって、挙手をさせていただいたのですけれども。そんなスケールの大きい話じゃないのですが。39ページの、除雪機ですか。沼ノ端地区児童クラブの。

これを買おうとしていたけど、買えなくてやめましたというお話だったかと思うのですが。これが6年度に織り込んでいたように聞こえなかったものですから、もう完全にやめちゃったのかどうかってところを教えていただければと思いました。

◆会長

はい、事務局。

◇事務局

令和5年度の児童クラブの除雪機につきましては、昨今、ウクライナ侵攻等々がございまして、除雪機が3月までに納品できないということで、今回落とさせていただいているところです。

当然、次の年となるのですけれども、令和6年度もこのような状況がいつまで続くか分からない中、確たることが現段階では言えないということで、令和6年度もとりあえずは見送らせていただいて、まず様子を見たいと思っています。

納品が確定できますという段階において、この4つの児童クラブに除雪機を配備できるようにやっていきたいと考えています。よろしく願いいたします。

◆D委員

ありがとうございます。よろしくお願いいたします。

◆会長

はい、分かりました。

その他にご質問ございますか、ご意見よろしいでしょうか。

◆B委員

5番のその他にってください。

◆会長

はい、その他になります。最後です。事務局から何かありますか。

◇事務局

ありません。

◆会長

それでは、はい。B委員、どうぞ。

◆B委員

私は報道でしか知らないのですが、この空港をはじめ、J Rが雪で止まってしまった時の対策ということで、会議等々をやられているのですけども、私どもは民間委託の北海道エアポート株式会社になってから、2次交通のことを言ってきたつもりです。

今回もJ Rが止まって、飛行場からの、陸の交通システムが途絶えたということもあったわけですが、苫小牧市さんがそういう会議に出られていて、どんなふうになっているかご報告いただければありがたいと思います。

◆会長

はい、事務局。

◇事務局

雪で止まった時の対策ということで、昨年、一昨年ですか。大雪が降りまして、北海道エアポート株式会社さんでも、冬の対策というのをしっかりとやられているところです。

北海道エアポート株式会社さんと苫小牧港開発さんが協定を結びまして、フェリーの活用ということで、空港から飛行機が出られないという形になった時に、空港に泊まるのではなく、フェリーターミナルまでバスで輸送して、そこから本州に行っていただくということです。

色々な会議がありますが、J Rが止まった場合、バスでのピストン輸送といったこともやられていまして、一端を申し上げますと、空港から大谷地駅のバスターミナルまで片道千円で、高速道路を使ってピストン輸送する。その間、札幌市で循環しているバスはいったん止めて、そこに注力して、どんどん空港から札幌に向けて輸送するというようなプランを今、立てているようです。この冬に備えて、そのような対策を今、考えているというふうに、私の方では押さえているところでありまして。以上でございます。

◆会長

はい、2次交通。いかがですか。

◆B委員

時間がないので、もう最後に。

今、バスの人手不足で、それも100%対応できない。タクシーもない。だから、どういうふうにその後、やるのということを僕は質問したつもりなのですよ。

現実にもその案はあっても、100%は機能できないとバス会社から言われているようなのです。タクシー会社も同じです。

だから、フェリーターミナルでピストン輸送と言ったって、バスがないのにできないのではないかなど、素人判断ですが。ただ、これからやっていただくことを願っているだけですけれどね。ただ、今の事務局が言うようなことは決して悪くないのだけれど、それができないということをバス会社が言っているようだから。

今後ともよろしくお願いします。

#### ◆会長

その他のことで、2次交通がありました。

このぐらいで時間も過ぎましたが、終了してよろしいでしょうか。

(「はい。」という声あり)

## 5 閉会

#### ◆会長

よろしいということですので、これを持ちまして、令和5年度第3回苫小牧市航空機騒音対策協議会を終わらせていただきます。

ご苦労様でした。